

「A」次の古語の訳語として最も適当なものを選び、番号で答えよ。

- 1 まめやかなり
① まじめだ ② 格別だ ③ 明瞭だ ④ 上品だ
- 2 なのめなり
① 並一通りだ ② 格別だ ③ 最低だ ④ 無関係だ
- 3 なめげなり
① 唐突だ ② 凡庸だ ③ 強引だ ④ 無礼だ
- 4 いうなり
① 熱心だ ② 有能だ ③ 可憐だ ④ 優美だ
- 5 せちなり
① 突然だ ② 切実だ ③ 面倒だ ④ 理不尽だ

「B」次の文の(訳)の「」に入る語句として最も適当なものを選び、番号で答えよ。

- 6 逢はじとしけれど、男はあやにくに心ざし深くなりゆく。(古本説話集)
(訳) (女は男に) 逢うまいとしたけれど、男は「」愛情が深くなっていく。
① ひどく ② 逆に ③ しいに ④ まじめに
- 7 灯台に向かひて寝たる顔どももらうたげなり。(枕草子)
(訳) 灯台に向かつて寝ている(舞姫たちの)顔も「」。
① すがすがしい ② 色がよい ③ かわいらしい ④ なまめかしい
- 8 あながちに丈高き心地ぞする。(源氏物語)
(訳) (女たちの立ち姿は)「」背丈が高い感じがする。
① 妙に ② 本格的に ③ むやみに ④ 確かに
- 9 うちつけなる御夢語りにはぞはべるなる。(源氏物語)
(訳) 「」御夢語りであるようですね。
① 力強い ② 厳然とした ③ 衝撃的な ④ 突然の
- 10 おぼろけのよすがならで、人の言にうちなびき、この山里をあくがれ給ふな。(源氏物語)
(訳) 「」縁以外に、人の口車に乗せられて、この山里からさまよい出なさってはいけない。
① きちんとした ② はつきりしない ③ 並々ではない ④ どうでもよい
- 11 この大将の君(源氏)の、今はとよそになり給はむなむ、飽かずいみじく思ひたまへらるる。(源氏物語)
(訳) この大将の君が、これで最後と(この家と)「」おなりになるようなことが、(私には)かぎりなくひどく悲しく思われるのです。
① 無縁に ② 関係に ③ 疎遠に ④ 険悪に
- 12 むすめを思ひかけて、みそかに通ひありきけり。(堤中納言物語)
(訳) (男は、友達の)娘を好きになって、「」通い続けた。
① 熱心に ② 深夜に ③ ひそかに ④ 頻繁に
- 13 いとうちつけなる心かな。(源氏物語)
(訳) ひどく「」心だなあ。
① 軽率な ② 実直な ③ 冷淡な ④ 風流な
- 14 物の心知らせ給へる宮たちは、御衣の色などいともまやかなるもあはれなり。(栄花物語)
(訳) 物心のおつきになった宮様たちは、お召しの服(喪服)の色(黒)などもとても「」のもいたわしい。
① 整っている ② 色が濃い ③ 色あせている ④ 地味な
- 15 うれしきもの。…とみにて求むる物、見出でたる。(枕草子)
(訳) うれしいもの。…「」(必要になって)探している物を、見つけ出したとき。
① あるときに ② どうしても ③ なぜか ④ 急に

解答

【新二年生用】 古文単語330三訂版 P 2 2 4 ~ P 2 3 3

- 15 ((④ (
- 14 ((② (
- 13 ((① (
- 12 ((③ (
- 11 ((① (
- 10 ((③ (
- 9 ((④ (
- 8 ((③ (
- 7 ((③ (
- 6 ((① (
- 5 ((② (
- 4 ((④ (
- 3 ((④ (
- 2 ((① (
- 1 ((① (